

10月16日～31日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
08/10/16 (木)	東京は日経平均の暴落をたどったことで円が一時急伸、ただその後はリバウンドの動きから急反発へ。欧米は引き続き荒い値動き。発表された米経済指標の悪化でドル売り先行。ただ米株は強ドル反発も。	・日経平均が前日比1089円安 ・8月の対米証券投資 4億ドル、9月の米鉱工業生産 2.8%、同設備稼働率76.4%、同CPIは0.0%、10月のFF連銀指数 37.5、同NAHB指数14	・RBAレートチェックの噂 ・スイス政府「UBSへの長期資本供与と非流動性証券の清算などで合意」 ・G7諸国を中心に協調利下げ実施の噂	ドル円 99.33 101.74 99.33 101.58	ユーロ円 133.50 137.22 133.50 133.67	24H 寄付 安値 高値 終値
08/10/17 (金)	東京は株価の動向などをにらみつつのレンジ相場。101円台を中心とした値動きに。欧米は引き続き米経済指標が冴えずドルの売り要因。しかしNYタイムズ報道もありドルは底堅く推移した。	・9月の米住宅着工件数81.7万戸、同住宅許可件数78.6万戸、10月のミシガン大消費者信頼感指数57.5	・ボストン連銀総裁「住宅・金融市場の問題は経済全体に波及」 ・NYタイムズ「ハフィット氏が米国株を買い推奨」 ・シカゴ連銀総裁「弱い経済は2009年まで続く」	ドル円 101.43 101.84 100.61 101.65	ユーロ円 136.81 137.42 134.84 136.35	24H 寄付 安値 高値 終値
08/10/20 (月)	東京は株価が堅調に推移したことやINGに対する資本注入報道から円は対ユーロ中心に弱含み。欧米は発表された米経済指標が珍しく良好。またFRB議長発言に好感した動きもありドル小じっかり。	・8月の景気先行指数89.0 ・9月の米景気先行指数0.3% ・蘭政府がINGに資本注入 ・スウェーデンが金融安定化基金創設へ ・仏政府が仏銀に公的資金注入へ	・10月の月例経済報告で景気基調判断を「弱まっている」に下方修正 ・FRB議長「追加景気刺激策は大規模にすべき」 ・米財務長官「政府の株式購入計画はすべての銀行へ申請促す」	ドル円 101.51 102.42 101.35 101.86	ユーロ円 136.50 138.57 134.80 135.93	24H 寄付 安値 高値 終値
08/10/21 (火)	東京はNYタイムズのリーマンのCDS決済に絡む買いなどからドルが対円、ユーロで堅調裡。欧米はハイライトはボンド。BOE総裁の発言を受けてボンドは対円などで暴落。ドルは株価にらみつつ弱い。	・10月のRBA議事録で追加利下げを示唆 ・加中銀が0.25%の利下げ実施。また声明で追加利下げも示唆 ・ホワイトハウスが第2の景気刺激策をしていないと否定	・RBA総裁「今月の大幅利下げは景気を支援する」 ・イラン石油相「OPECは日産200-250万バレル減産する可能性」 ・BOE総裁「現在、英経済はリセッション入りした可能性」	ドル円 102.13 102.16 100.09 100.14	ユーロ円 136.25 136.39 130.66 130.81	24H 寄付 安値 高値 終値
08/10/22 (水)	東京は日経平均株価が600円を越す下げ幅を記録したことで再び円買い優勢。100円割れへ。欧米はFRB大幅利下げ観測などが聞かれたものの株価は下げ止まらず、それに併せて為替は円高進行。	・8月の全産業活動指数 1.8% ・ハンガリー中銀が追加防衛の目的で政策金利を3.0%引き上げ ・FRBがFF金利誘導目標水準を0.75%から 0.35%に引き上げ、一方で緊急利下げの噂も	・10月のBOE議事録「全会一致で0.5%の利下げを決定」 ・マコミック米財務次官「米経済は今後数四半期厳しいだろう」 ・米政府「G20首脳会談を11/15にワシントン周辺で開催」	ドル円 100.23 100.45 97.23 97.67	ユーロ円 130.37 130.83 124.65 125.55	24H 寄付 安値 高値 終値
08/10/23 (木)	東京は株式市場が一時大きく暴落したことで円買い優勢。しかしWSJ報道を受けて結局行って来い。欧米は依然として米経済指標と株価に連動する展開。弱い指標を嫌気するも株価の反発が下支え。	・NZが1.0%の利下げ実施 ・9月の貿易収支951.11億円 ・8月の米住宅価格指数 0.6%	・WSJ「米政権、400億ドルの住宅ローン借り手保護策を検討」 ・S&P「ロシア長期ワブリ格付け見通しをネガティブに引き下げ」 ・FDIC総裁「米政府、住宅差し押さえ回避のため保証制度導入検討」	ドル円 97.72 98.33 95.94 97.39	ユーロ円 124.80 126.29 123.13 125.98	24H 寄付 安値 高値 終値
08/10/24 (金)	東京は日経平均が800円を越す下げ幅を記録したことで再び円高へ。一方で豪中銀が市場介入動向も。欧米は米株先物の大幅安などを受けて円買い優勢。ドル/円は90円台。しかし調整の動きで終盤戻す。	・デンマークが0.5%の利下げ実施 ・第3四半期英GDP速報値 0.5% ・豪州が通貨防衛の市場介入実施 ・週末実施ASEM声明草案のなかで「金融危機の経済への影響を懸念」 ・9月の米中古住宅販売518万戸	・杉本財務次官「為替の急激な変動は望ましくない」 ・仏経済財務相「ECBはFRBよりも利下げ余地が大きい」 ・麻生首相「円高はいつも悪いばかりでない」	ドル円 97.60 97.62 90.87 94.30	ユーロ円 125.93 125.95 113.79 119.05	24H 寄付 安値 高値 終値
08/10/27 (月)	東京は円買い優勢でスタートするもG7を受けた当局の介入期待などから流れ一変し円は急落。欧米は独IFO指数の悪化からユーロが冴えない。また米株安からドルも買いにくく円は結果として独歩高。	・韓国が0.75%金利を引き下げ ・G7緊急声明「最近の円の過度の変動に懸念している」 ・10月独IFO景況指数90.2 ・9月の米新築住宅販売46.4万件	・中川財務金融相「為替市場に重大な関心を持って注目」 ・仏経済相「G7は円相場での協調介入の計画はない」 ・ECB総裁「来月6日の会合で追加利下げの可能性も」	ドル円 93.53 94.50 92.05 92.80	ユーロ円 118.07 119.47 113.62 115.94	24H 寄付 安値 高値 終値
08/10/28 (火)	東京は日経平均が400円以上上昇したことに加え、介入期待などから再び円売り優勢に。欧米は日経早刷りや独財務相の発言を受けて円は続落。またNYダウは史上2番目の上昇幅を記録した。	・豪州が3日連続の自国通貨防衛介入動向 ・アイスランドが6%の金利引き上げ ・8月の米ケースシャ-住宅指数 16.6%、10月の消費者信頼感指数 38.0、同リッチモンド連銀指数 26	・中川財務金融相「株の空売り規制、今日から前倒しで実施」 ・日経新聞早刷り「31日の会合で日銀は0.25%の利下げ検討へ」 ・独財務相「円の急激な上昇を懸念」	ドル円 93.21 98.50 92.60 98.00	ユーロ円 116.20 124.69 114.45 124.31	24H 寄付 安値 高値 終値
08/10/29 (水)	東京は日経報道により円売り優勢となるも続かず。GM決算延期が嫌気され一転し円買いが優勢。欧米は米利下げが実施されたが予想通りの結果であったため逆に材料出尽くし感からドルが小じっかり。	・9月の鉱工業生産1.2% ・9月の米耐久財受注0.8% ・FOMCが公定歩合ならびにFF金利誘導目標を0.5%引き下げ ・GMが決算発表を延期	・財務省「外為特会の評価損は23.9兆円」 ・英財務相「英経済はリセッション入り」	ドル円 98.22 98.28 96.08 97.40	ユーロ円 125.80 126.99 121.42 126.23	24H 寄付 安値 高値 終値
08/10/30 (木)	東京は日経平均が800円を越す上昇をたどったことや日銀利下げ観測から円が冴えない。欧米はレンジ内で荒い。米GDPのマイナスが嫌気されたものの、米株は堅調で終盤は逆にドル買い。	・香港が0.5%の金利引き下げへ ・10月の独失業率7.5%、同失業者増減 2.6万人 ・第3四半期米GDP速報値 0.3%、同個人消費速報値 3.1%	・スウェーデン中銀総裁「政策金利引き下げの可能性」 ・独連銀総裁「経済が減速したら金利は低下すべき」 ・SF連銀総裁「連銀による1%以下への利下げの可能性も」	ドル円 97.54 99.13 97.40 98.57	ユーロ円 126.40 131.05 124.79 127.30	24H 寄付 安値 高値 終値
08/10/31 (金)	東京は日銀が利下げに踏み切ったものの、下げ幅は予想よりも小さく失望。株価は大幅安に。欧米はボンドが急落。次回会合で大	・9月の消費者物価2.1%、同完全失業率4.0% ・9月のユーロ失業率7.5% ・10日日銀介入実績はゼロ	・日銀決定会合で0.2%の利下げ実施、「賛成4、反対4で議長決定」 ・ベルギー中銀総裁「ECBは追加利下げの可能性」	ドル円 98.80 99.13 96.35	ユーロ円 127.17 127.23 122.20	24H 寄付 安値 高値

<p>幅利下げに踏み切るとの見方が嫌気されていた。ドル/円などはレンジ内で引き続き揉み合い。</p>	<p>・9月の米個人所得0.2%、同個人消費 0.3%、第3四半期雇用コスト指数0.7%、10月のシカゴPMIは37.8、シカゴ大消費者信頼感指数57.6</p>	<p>・スウェーデンECB理事「11月の利下げは可能」 ・S&P「アルゼンチンの債務格付けを引き下げ」</p>	98.50	125.41	終値
--	---	---	-------	--------	----

* 製作・著作; 「FXニューズレター」

URL; <http://www.fx-newsletter.com/>

FX-newsletter